

名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター
令和3年度事業実績



社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒462-8558 名古屋市北区清水4丁目17番1号
名古屋市総合社会福祉会館内

電話 (052) 911-3180
FAX (052) 917-0702

目次

ボランティアセンターの運営

1	ボランティア活動に関する相談・情報提供等	1
2	ボランティア活動拠点・活動資器材の提供	4
3	ボランティア情報の収集・発信	5

ボランティア活動の支援・振興

4	ボランティア意識・活動の啓発	7
5	ボランティアの学習の場づくり	8
6	企業の社会貢献活動・勤労者のボランティア活動の支援	10
7	助成事業等の情報提供及び団体の推薦等	11
8	ボランティア活動に関する顕彰への推薦等	12
9	市域ボランティアネットワーク組織の支援	13

地域福祉活動・ボランティア活動の担い手・しくみづくり

10	福祉教育・ボランティア体験学習の推進	19
11	災害ボランティア活動の推進	25
12	地域の支え手応援事業	30

区社会福祉協議会ボランティアセンターの支援

13	市・区社協ボランティアセンターの機能強化	32
----	----------------------	----

他の市民活動推進機関との連携、ボランティア活動に関する調査・研究

14	他機関との連携・協力、ボランティア活動に関する調査・研究	33
----	------------------------------	----

資料編

1	ボランティアセンターのあゆみ	36
2	所管事業名称等一覧表	41

1 ボランティア活動に関する相談・情報提供等

1 窓口等でのボランティア活動相談・連絡調整、保険加入受付等(市社協分のみ)

(1) 相談総件数 457件

(内訳)

内容	件数
ボランティアの依頼に関する事	86件
ボランティア活動希望に関する事	95件
ボランティア保険に関する事	115件
講座等の情報に関する事	20件
福祉教育に関する事	13件
災害ボランティア等に関する事 (東日本大震災VCなごや関係も含む)	17件
その他ボランティア活動一般	111件

※内訳は下記(2)参照

(2) ボランティアの依頼の内訳

依頼内容	依頼件数	対応件数
日常生活支援(継続)	2件	1件
日常生活支援(随時)	3件	3件
見守り・話し相手・孤立防止	2件	2件
移動・外出	71件	34件
社会参加・交流	2件	0件
趣味・教養	1件	1件
施設ボラ運営系	0件	0件
施設ボラ披露系	2件	2件
その他	3件	3件

(3) ボランティア活動保険・行専用保険の加入受付

活動 保険	行専用保険					
	総数	日帰 (A行事)	日帰 (B行事)	日帰 (C行事)	当日 参加型	宿泊 行事
(人)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)
6,171	44	44	0	0	0	0

2 ボランティア登録制度(市・区社協)

本会と区社協では、ボランティア活動を希望する、または活動を行っている個人や団体の登録を受け、ボランティア活動に関する情報提供や需給調整(コーディネート)等に活用している。

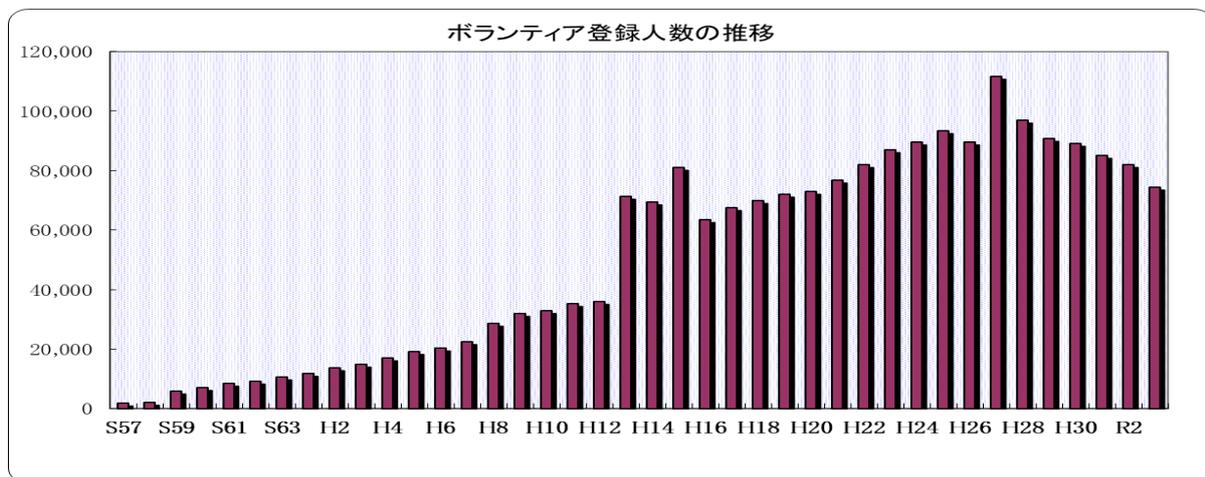
市社協と各区社協では、共通の登録制度・情報管理システム(名古屋市・区社協登録ボランティア情報管理システム「みみライン」)を導入し、市内のボランティア登録情報を共有・活用している。

(参考) 社協別ボランティア登録者数 (令和4年3月31日現在)

登録種別		①グループ数 (団体)	②グループ人数 (人)	③個人登録者 (人)	④登録人数合計 (②+③ 人)
登録社協	千種	101	3,398	93	3,491
	東	108	2,594	51	2,645
	北	116	1,979	75	2,054
	西	136	3,189	86	3,275
	中村	107	4,970	43	5,013
	中	161	8,619	65	8,684
	昭和	113	4,378	72	4,450
	瑞穂	127	4,153	46	4,199
	熱田	85	1,307	93	1,400
	中川	123	1,915	47	1,962
	港	97	3,076	77	3,153
	南	172	3,514	88	3,602
	守山	152	4,394	56	4,450
	緑	205	5,593	134	5,727
	名東	111	5,664	214	5,878
	天白	142	3,373	101	3,474
市	117	10,939	56	10,995	
合計		2,173	73,055	1,397	74,452

ボランティア登録者数（名古屋市・区社協登録）の推移

年度	個人登録 登録人数(A)	グループ登録〔人〕		合 計〔人〕 (A+B)	前年度比較	
		グループ数	登録人数(B)		増△減	前年比
S57				1,922	-	-
S58				2,134	212	111.0%
S59				5,855	3,721	274.4%
S60				7,044	1,189	120.3%
S61				8,542	1,498	121.3%
S62				9,220	678	107.9%
S63				10,640	1,420	115.4%
H1				11,888	1,248	111.7%
H2				13,619	1,731	114.6%
H3				14,912	1,293	109.5%
H4				17,026	2,114	114.2%
H5				19,051	2,025	111.9%
H6				20,297	1,246	106.5%
H7	1,134	763	21,241	22,375	2,078	110.2%
H8	1,221	809	27,381	28,602	6,227	127.8%
H9				31,888	3,286	111.5%
H10	1,519	941	31,315	32,834	946	103.0%
H11	1,632	986	33,603	35,235	2,401	107.3%
H12	1,965	1,018	33,947	35,912	677	101.9%
H13	1,740	933	69,565	71,305	35,393	198.6%
H14	999	1,063	68,303	69,302	△ 2,003	97.2%
H15	1,245	1,280	79,835	81,080	11,778	117.0%
H16	1,224	1,365	62,156	63,380	△ 17,700	78.2%
H17	1,216	1,416	66,259	67,475	4,095	106.5%
H18	1,511	1,489	68,397	69,908	2,433	103.6%
H19	1,541	1,493	70,382	71,923	2,015	102.9%
H20	1,526	1,525	71,546	73,072	1,149	101.6%
H21	1,436	1,630	75,282	76,718	3,646	105.0%
H22	1,509	1,693	80,395	81,904	5,186	106.8%
H23	2,538	1,917	84,466	87,004	5,100	106.2%
H24	2,911	1,612	86,721	89,632	2,628	103.0%
H25	3,104	2,107	90,149	93,253	3,621	104.0%
H26	2,975	2,095	86,562	89,537	△ 3,716	96.0%
H27	3,264	2,551	108,272	111,536	21,999	124.6%
H28	2,772	2,592	94,182	96,954	△ 14,582	86.9%
H29	1,901	2,378	88,889	90,790	△ 6,164	93.6%
H30	2,191	2,541	86,965	89,156	△ 1,634	98.2%
R1	1,827	2,410	83,279	85,106	△ 4,050	95.5%
R2	1,462	2,236	80,580	82,042	△ 3,064	96.4%
R3	1,397	2,173	73,055	74,452	△ 7,590	90.7%



2 ボランティア活動拠点・活動資器材の提供

1 活動拠点(市総合社会福祉会館6階ボランティアセンター)の概要

(1) 多目的活動室《要予約、部屋は東西分割可》

面積：133㎡

目的：登録ボランティアの会合・研修・作業等を行う

定員：30名（東・西各15名）

設備：東・西とも長机8本・いす20脚・ホワイトボード2台
VHSビデオデッキ付テレビ1台（東のみ）

(2) グループ活動室《予約不要》

面積：66㎡

目的：ボランティア活動に関する印刷その他軽易な作業、簡単な打ち合わせ等を行う

定員：8名

設備：作業台及び小規模打合せスペース
登録ボランティア向け印刷機 1台（利用料必要）
登録ボランティア向け貸しロッカー

(3) 点訳室《要予約》

面積：40㎡

目的：点訳ボランティアが点訳作業・点字印刷作業を行う

定員：12名

設備：点訳パソコン+点字プリンタのセット3台

(4) 録音編集室《要予約》

面積：20㎡（録音室2室）

目的：朗読ボランティア等が視覚障がい者等向けのテープ・CDを録音・ダビングする

定員：10名

設備：A室：テープ録音デッキ・ダビング装置一式
B室：CD録音用パソコン・CDダビング装置一式

(5) トレーニングルーム《年間の使用申請が必要》

面積：273㎡

目的：非営利団体による障がい者や高齢者を対象とした療育指導やリハビリ指導、乳幼児を対象とした育児指導などを行う

定員：50名

設備：カーペット敷き（机・いす等はなし）

※新型コロナウイルスの影響により、令和2年6月1日以降は、各部屋の定員は2分の1とした

令和3年度 各部屋利用状況

	多目的活動室	グループ活動室	点訳室	録音編集室	トレーニングルーム	計
利用件数(件)	371	134	146	61	350	1,062
利用人数(人)	2,240	306	516	306	5,029	8,397

※緊急事態宣言等が発令された場合、名古屋市総合社会福祉会館は20時間閉館となった。

3 ボランティア情報の収集・発信

1 市社協広報誌「ふれあい名古屋」の「ほっとはあとコーナー」の編集

(1) 経緯

昭和59年からボランティア情報誌「ほっとはあと」の発行を開始、平成18年に市社協広報誌「ふれあい名古屋」と統合し、以後、同誌内の「ほっとはあとコーナー」にて情報を掲載

(2) 発行回数

年3回（4月号、7月号、10月号、1月号）

(3) 発行部数

12,000部

(4) 編集方法

編集・取材ボランティア「ほっとはあとクラブ」との共同編集

(5) 主な配布先

市・区社会福祉協議会登録ボランティアの他、民生委員、図書館、小・中・高校・大学、区役所、本会会員の福祉施設等

(6) 主な内容

・旬ボラに行く！

地域課題等に取り組むボランティアの方々に地域への想いや活動についての記事

・ボランティア・NPO ウォッチング

ボランティア・NPO 団体の紹介

・きらっとボランティア・NPO らいぶ

きらっと光るボランティア・NPO 活動者へのインタビュー記事

・各区社協職員に聞いた 地区のオススのボランティア

各区社協職員から区内のオススボランティアを推薦してもらい紹介する記事

・ボランティア豆知識

ちょっとしたボランティアの豆知識を紹介する記事

・ほっとはあとメンバーのつぶやき

編集ボランティア等の福祉に関するつぶやき

2 名古屋市・区社協ボランティア情報サイト「なごやボラねっと」

市社協もしくは16区社協にボランティア登録している団体のうち、情報公開を希望する団体の情報をインターネットで検索・表示できるシステムを、特定非営利活動法人ボラみみより情報局のシステム提供により開設している。平成29年度には、スマートフォン及びタブレット対応に仕様変更。令和3年度にリニューアルし、登録ボランティア団体や福祉施設に情報発信権限を与え(ID発行)、登録個人ボランティアの希望者に情報配信を開始し、スマートフォン版の改修も行った。

(1) 開設日 平成22年2月1日

(2) URL https://www.mimiline.jp/nagoya_svc/

(3) 情報公開団体数 1,130団体（令和4年3月31日現在）

(4) 情報配信対象者数・配信数 242人に54通メール配信（記事63件）

3 「名古屋市社会福祉協議会 Facebook(フェイスブック)」

ボランティア等に関する情報や開催行事報告、ボランティア等が申請できる助成金情報などを随時掲載。

URL : <https://www.facebook.com/shakyonagoya>

4 「なごや福祉ボランティア募集情報」

市社協および16区社協において、区内福祉施設やボランティア団体からボランティアニーズを聞き取り、ボランティア募集情報としてとりまとめ、冊子として発行。

(1) 発行回数

年2回(令和3年6月、12月)

(2) 配架先

16区社協、名古屋市市民活動推進センター、大学ボランティアセンター等

※その他、本会ウェブサイトにもPDFデータを掲載

(3) 掲載募集情報数

267(令和3年12月号実績)

5 【新】「ボランティア活動紹介動画作成」

ボランティア活動の見える化を通して、市民のボランティア参加意欲を促進するため、ボランティア団体の活動の様子を撮影して動画にし、インターネット上に掲載。1団体の紹介ではなく、活動分野や、ボランティアの種類の種類に重点を置いた。また、気軽に見ていただけるよう動画1つ当たりの長さは3分程度に抑えることとした。

今年度は第1、2弾としておもちゃ図書館とおもちゃ病院の動画を作成。

4 ボランティア意識・活動の啓発

1 ボランティアセンターPRパンフレットの発行



<内容>

- ・ ボランティア・市民活動とは
- ・ ボランティア活動を始める前の知っておきたい心がまえ10カ条
- ・ いろいろなボランティア・市民活動
- ・ 社協ボランティアセンターの役割
- ・ 名古屋市内のボランティアセンター

2 ぼらマッチ! なごや

ボランティアをしたい人と、ボランティアを必要としている団体・施設のマッチングイベント
(就職企業展のボランティア版)

主 催:名古屋市・名古屋市社会福祉協議会

企 画:ボランティア活動の促進協働会議

参加団体(愛知学院大学 地域連携センター、愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター、愛知大学 ボランティアセンター、株式会社デンソー、特定非営利活動法人 名古屋 NGO センター、名古屋学院大学 社会連携センター、名古屋市子ども青少年局青少年家庭課、社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会、名古屋市スポーツ市民局市民活動推進センター、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、名古屋市総務局総合調整室、特定非営利活動法人 ボラみみより情報局、名城大学 ボランティア協議会/50音順)

日 時:令和3年12月4日(土)13:00~16:30

会 場:愛知大学 名古屋キャンパス(中村区平池町4-60-6)

内 容:●ぼらトーク!

カレーハウス CoCo 壱番屋創設者の宗次徳二氏による基調講演と、さまざまな年代のボランティア体験談が聞けるトークセッション

●団体・施設ブース、相談コーナー

様々な活動分野の16団体・施設がブース出展

●相談コーナー 相談9件

市民活動推進センター、市社協職員ボランティアコーディネーターによる相談

●オンラインプレ企画(YouTubeによる配信 10月1日~)

ボランティア入門講座

出展団体による活動紹介・ボランティア募集動画

参加者:200名(資料配布数を計上。出展者・スタッフ含む)

5 ボランティアの学習の場づくり

1 「なごやボランティア楽集(がくしゅう)会～しゃべり場・学び場・気づきの場～」

ボランティア・市民活動の実践者同士(同志)が活動の意義や役割、原点等についてともにふりかえり、次世代の実践者に対して「思い」を紡ぐことを目的に開催。

(1) 開催委員会

有志による委員会で企画・運営を行った。

- ①委員：明石 雅世(みんなで創ろうわがまちひがし、♪ハーモニー♪、東区民生児童委員)
井階 弥可(点訳ボランティア北コース会、こころに寄り添うボランティア“かけはし”代表)
織田 元樹(特定非営利活動法人ボラみみより情報局 代表理事)
佐原 恵津子(特定非営利活動法人ボラみみより情報局、国際子ども学校)
椿 佳代(エンジェルランプ、多文化防災ネットワーク愛知・名古屋)
渡辺 勉(夢喰人 代表、特定非営利活動法人チャイルドラインあいち)

②会議：会場とオンラインと併用開催(会場+オンライン)

第1回	令和3年	5月	8日(土)	6名参加(4+2)+事務局3名
第2回	令和3年	6月	8日(火)	5名参加(3+2)+事務局3名
第3回	令和3年	7月	3日(土)	6名参加(3+3)+事務局2名
第4回	令和3年	7月	31日(土)	5名参加(3+2)+事務局2名
第5回	令和3年	8月	28日(土)	5名参加(3+2)+事務局2名
第6回	令和3年	10月	24日(日)	6名参加(2+4)+事務局2名
第7回	令和3年	11月	30日(火)	6名参加(2+4)+事務局2名
第8回	令和4年	2月	8日(火)	6名参加(1+5)+事務局2名
第9回	令和4年	3月	12日(土)	6名参加(6+0)+事務局2名

(2) 当日

○第7回なごやボランティア楽集会～しゃべり場・学び場・気づきの場～

①主催：なごやボランティア楽集会開催委員会(事務局：名古屋市社会福祉協議会)

②日時：令和4年2月20日(日)13:15～16:15

(まん延防止等重点措置期間になったため3月12日(土)に延期。まん延防止等重点措置期間延長となったため今年度は中止)

③場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

④テーマ：『誰も置きざりにしない社会をめざして～学びのセーフティネットを考える～』

⑤講師：笹山 悦子さん(愛知夜間中学を語る会 代表)

⑥参加者：-

※ 令和4年度に延期開催予定。

2 Zoom 講座

新型コロナウイルスの影響により、従来通りのボランティア活動が難しくなったことを受けて、コロナ禍においてボランティア活動を継続するために有効なZoomの使い方を学ぶ講座を開催。株式会社大塚商会、ソフトバンク株式会社、名古屋市市民活動推進センター、特定非営利活動法人 ボラみみより情報局との共催(株式会社大塚商会は中級コース、ソフトバンク株式会社はスマホ編のみ)。

●入門&初級コース パソコン編

日 時：令和3年6月2日（水）10：00～12：00

会 場：名古屋市市民活動推進センター 集会室及び名古屋市総合社会福祉会館 多目的活動室

参加者：18名

●中級コース パソコン編

日 時：令和3年6月15日（火）14：00～16：00

会 場：名古屋市市民活動推進センター 集会室及び名古屋市総合社会福祉会館 多目的活動室

講 師：株式会社大塚商会

参加者：18名

●スマホ編

日 時：令和3年8月25日（水）

午前の部（10：00～12：00） 午後の部（14：00～16：00）

会 場：名古屋市市民活動推進センター 集会室及び名古屋市総合社会福祉会館 多目的活動室

講 師：ソフトバンク株式会社

参加者：午前の部 18名 午後の部 19名

6 企業の社会貢献活動・勤労者のボランティア活動の支援

1 活動情報の提供等

(1) 事業提案、他機関・団体への紹介

企業等からの問合せに対応し、企業の社会貢献事例についての情報提供や必要に応じて区社協や他団体等につなぐ等を行った。

2 活動支援・調整等

(1) 寄贈物品の紹介・調整・受付（本会受付分のみ）

- ・ 八勝館…座布団
- ・ 株式会社関電工…絵本
- ・ 株式会社大成…マスク（2000箱）
- ・ 中京銀行…車いす（1台）

7 助成事業等の情報提供及び団体の推薦等

民間団体等が行う活動助成事業や寄贈事業について、本会窓口への案内等配架や本会 Facebook への情報掲載等を通して広く情報提供を行った。

1 助成事業・寄贈情報の提供(順不同) ※「★」は寄贈事業

- ・公益財団法人大和証券福祉財団「ボランティア活動助成」
- ・公益財団法人SONPO福祉財団「NPO基盤強化資金助成」
- ・一般社団法人生命保険協会愛知県協会・公益財団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会愛知県協会「福祉巡回軽自動車・車椅子乗車可能福祉軽自動車寄贈」★
- ・日本郵便株式会社「年賀寄付金配分団体」
- ・愛知県共同募金会「CBCチャリティ募金 広げよう子どもの食支援事業費」「つながりをたやさない社会づくり事業費」
- ・アイシングループ「NPO活動応援基金（愛知県地区）」
- ・公益財団法人キリン福祉財団「キリン・地域のちから応援事業」「キリン・福祉のちから開拓事業」公募助成
- ・こくみん共済coop「地域貢献助成」
- ・ニッセイ財団 高齢社会助成「地域福祉チャレンジ活動助成」
- ・公益財団法人みずほ教育福祉財団「老後を豊かにするボランティア活動資金」助成事業、「配食用小型電気自動車『みずほ号』」寄贈事業★
- ・公益財団法人ヤマト福祉財団「助成金」
- ・愛媛県松前町「義農大賞」
- ・一般財団法人中部圏地域創造ファンド「休眠預金による新型コロナウイルス対応支援助成」
- ・公益財団法人日本科学協会「笹川科学研究助成」
- ・住友生命保険相互会社「未来を強くする子育てプロジェクト」
- ・公益財団法人大同生命厚生事業団「シニアボランティア活動助成」「ビジネスパーソンボランティア活動助成」
- ・公益信託大野良久記念老人福祉基金「助成金」
- ・田辺三菱製薬「手のひらパートナープログラム」
- ・日本財団「みらいの福祉施設建築プロジェクト 2021」
- ・独立行政法人福祉医療機構「WAM助成：モデル事業」
- ・独立行政法人福祉医療機構「WAM助成：通常助成事業」
- ・公益財団法人国際緑化推進センター「海外における森林整備・緑化事業」

8 ボランティア活動に関する顕彰への推薦等

1 国・県・市等が行う各種顕彰事業への推薦 ()内は登録先社協

(1) 第58回名古屋市民間社会福祉事業功労者市長ほう賞

<受賞団体>

●表彰

- 手話サークル手・手ぽっぽ (北区)
- 音訳ボランティアはなのき (西区)
- みなみ文化日本語の会 (南区)

●感謝

- 特定非営利活動法人名古屋おやこセンター (中区)
- カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会 (昭和区)
- コックススポーツクラブ (港区)
- 託児グループ「うさぎ」(天白区)
- ユートピアマジッククラブ (名古屋市)

(2) 令和3年度 愛知県ボランティア活動功労者知事表彰

<受賞団体>

- 金城学院中学校 YWCA 部 (東区)

(3) 令和3年度 ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

<受賞団体>

- 昭和区手話サークルてむすび (昭和区)

9 市域ボランティアネットワーク組織の支援

1 名古屋市おもちゃ図書館連絡会(昭和63年11月設立)

おもちゃ図書館活動の輪を広げ、各おもちゃ図書館が協力し合うことを目的とする。

(1) 構成団体

①図書館 16館(4分館含む) ②病院(修理) 3病院 計19団体

(2) 代表

おもちゃ図書館ぴっころ 武田 美和子 氏

(3) 総会

日 時：令和3年4月

方 法：書面開催

内 容：令和2年度事業報告及び会計報告、令和3年度事業計画及び予算等

(4) おもちゃの研究事業(ボランティア研修会)

①日 時：令和3年11月6日(土)

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室

内 容：研修「コロナ禍における子どもと保護者の現状」

講師：岡崎 勝さん(『お・は』編集人)

情報交換：近況報告、情報提供(全国オンライン会議報告、訪問報告)

参加者：11名

②日 時：令和4年1月29日(土)

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室

内 容：情報交換：近況報告

情報提供：おもちゃ図書館・病院のPR動画作成、会費について 研修：おもちゃづくり

参加者：15名

(5) 定例会

研修会と兼ねる

(6) 世話人会

①日 時：令和3年4月21日(水)

内 容：令和3年度事業検討、総会資料確認

参加者：4名+事務局1名

②日 時：令和3年7月29日(木)

内 容：ぼらマッチ!なごや参加、研修会について検討

参加者：3名+事務局1名

③日 時：令和3年9月29日(水)

内 容：研修会について詳細検討、会計について確認

参加者：4名+事務局1名

④日 時：令和3年12月22日(水)

内 容：研修会について検討、おもちゃ図書館・病院のPR動画作成について等

参加者：4名+事務局1名

(7) その他会議

①おもちゃの図書館 全国オンライン会議 (Zoom)

日 時：令和3年9月5日(日)

内 容：全国連絡会基調報告・コロナ禍の中での取り組み紹介

グループワーク：情報交換(参加者紹介、近況報告)

②おもちゃ図書館県市連絡会事務局 県市社協情報交換会 (Zoom)

日 時：令和4年3月8日 (火)

内 容：県連・おもちゃ図書館の活動について(活動紹介・情報交換)、全国連絡会からの報告

参加者：6県・市社協+全国連絡会事務局

(8) PR活動

①名古屋市子ども・子育て支援センター

平成30年度に団体登録を行い、「情報ガーデン」でリーフレットや会員団体一覧の配架等を行ったり、「名古屋市子育て応援サイト」でも情報掲載勧奨。

②おもちゃ図書館・おもちゃ病院ボランティア紹介動画作成協力

(9) 中央図書館の運営

おもちゃ図書館「ともだち」(中央図書館)の活動実績等

・会場 市総合社会福祉会館トレーニングルーム (6階)

・開館 月3回(第1月曜・第2土曜・第3日曜)延べ23日

・おもちゃの点数 612点 ・利用者 639人(新規25人)

・貸出点数 245点(198件) ・ボランティア 延180人

・例会 9回 ・行事等参加 0回

※ 新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言等により、臨時休館あり。

2 名古屋点訳ネットワーク(NBN)(平成10年6月14日設立)

点訳活動の輪を広げ、各点訳ボランティアが協力し合うとともに、視覚障害者が点訳情報をより入手しやすくすることを目的とする。

(1) 構成団体

46団体・18個人(NBN通信送付先)

(2) 代表

大樹会 中西 和子 氏

(3) 総会

日にち：令和3年7月4日(日)

会 場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室+オンライン(Zoom ミーティング)併用

内 容：前年度活動報告・決算、今年度役員選出・活動計画・予算、情報交換

(4) 勉強会「点訳勉強会」

日にち：令和3年7月4日(日)・25日(日)

会 場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室+オンライン(Zoom ミーティング)併用

内 容：『点訳の手引き第4版』の主な追加・変更箇所 講師 長江 まゆみ 氏

参加者：延べ55名

(5) NBN通信の発行(随時)

3 ガイドネットワークなごや(平成12年10月設立)

ガイドボランティア活動の輪を広げ、各ガイドヘルプボランティアが協力し合うとともに、視覚障がい者の外出支援をより効果的に行うことを目的とする。

(1) 構成団体

6団体

(2) 代表

ガイドボランティアかがやき(南区) 梅木 幸子 氏

(3) 総会・勉強会

日にち：令和3年4月10日（土）

会 場：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

内 容：

【総会】前年度活動報告・決算、今年度役員選出・活動計画・予算、

【勉強会】「ガイドの対応で苦慮・困惑した経験やコロナ禍における生活の変化や気づきなど」

講師：名古屋ライトハウス情報文化センター 所長 岩間 康治 氏

参加者：15名

(4) ガイドボランティア養成講座

日にち：6月2日、9日、16日、23日（水）全4回

会 場：名古屋市総合社会福祉会館7階 中会議室 ほか

講 師：梅木 幸子 氏（ガイドネットワークなごや）

その他、ガイドネットワークなごやメンバー多数協力

受講者：15名

(5) 研修・交流会

【ガイドネットワークなごや20周年勉強会】

日にち 令和3年11月14日（日）13：30～15：30

会 場 名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室

講 師 名古屋市総合リハビリテーションセンター

視覚支援課 松枝 孝志 氏

中村 雅人 氏

内 容 「歩行訓練について」

参加者 24名

【交流会】

日にち 令和4年2月6日（日）13：30～15：30

会 場 名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内 容 講話「ボッチャを楽しもう」

講 師 社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

スポーツ振興部スポーツ振興課長 鋤野 貴之 氏

参加者 12名

(6) 役員会

10回開催

(7) ガイドボランティアコーディネート実績

受付ニーズ合計：63件

成立件数：32件（実32件）ボランティア活動者数：延べ35名

対応不可件数：26件、依頼取下げ件数：5件

※今年度は、依頼日が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中に重なったため、対応不可として断ったケースもあり

4 名古屋市ボランティア連絡協議会(平成18年3月30日設立)

区ボランティア連絡協議会によって構成され、区ボラ連の情報交換や交流活動、ボランティア活動への参加を促進する活動などを行う。

(1) 構成団体

12団体（各区ボランティア連絡協議会）※ 北区、瑞穂区、熱田区、中川区、を除く

(2) 代表

守山区ボランティア連絡協議会 田代 京美 氏

(3) 役員会・例会

- ① 令和3年 4月14日(水) 役員会 参加者: 4名
- ② 令和3年 5月 9日(日) 例会兼まなびの会
参加者: 22名
- ③ 令和3年 7月 1日(木) 役員会 参加者: 3名
- ④ 令和3年 7月30日(金) 例会 参加者: 8名
- ⑤ 令和3年 8月24日(火) 役員会 参加者: 4名
- ⑥ 令和3年 9月 1日(水) 例会・情報交換会: 中止
- ⑦ 令和3年10月26日(火) 役員会 参加者: 4名
- ⑧ 令和3年11月24日(水) 例会 参加者: 8名
- ⑨ 令和3年12月21日(火) 役員会 参加者: 3名
- ⑩ 令和4年 2月17日(木) 役員会 参加者: 4名
- ⑪ 令和4年 2月22日(火) 例会 参加者: 7名

※ ⑥開催予定だった情報交換会は、千種区在センが利用不可になったため中止。

(4) 事業等

令和4年1月23日(日) 第4回まなびの場

内 容: 障害者スポーツを取り巻く環境の変化について

講 師: 石本 直美 氏 (車いすテニスプレイヤー)

當 間 寛 氏 (車いすテニスプレイヤー)

鋤野 貴之 氏 (名古屋市総合リハビリテーション事業団スポーツ振興課長)

参加者: 23名

(参考) 各区ボランティア連絡協議会設置状況 (令和4年3月31日現在)

名 称	設立年月	加入数		主な構成団体
		団体	個人	
千種区ボランティア連絡協議会 (事務局: 千種区社会福祉協議会)	H14.5	10	1	ボラ団体・個人
東ほっとネット (事務局: 東区社会福祉協議会)	H14.3	45	5	ボラ団体・個人・NPO・ 学校・施設・企業・当 事者団体・区役所・生 涯学習センター
西区ボランティア連絡協議会 (事務局: 西区社会福祉協議会)	H7.8	33	10	ボラ団体・NPO 団体・ 福祉施設・個人
中村区ボランティア連絡協議会 (事務局: 中村区社会福祉協議会)	S63.9	5	-	ボラ団体・NPO 法人
ボラネットなかまんなか (事務局: 中区社会福祉協議会)	H14.10	13	-	ボラ団体のみ
昭和区ボランティア連絡協議会 (事務局: 昭和区社会福祉協議会)	H6.9	21	-	ボラ団体・福祉関係施 設・当事者団体

港区ボランティア連絡協議会 (事務局：港区社会福祉協議会)	H14.4	14	15	ボラ団体・個人
南区ボランティア連絡協議会 (事務局：南区社会福祉協議会)	H2.9	23	-	ボラ団体のみ
守山区ボランティア連絡協議会 (名古屋守山ロータリー地域社会共同隊) (事務局：守山区社会福祉協議会)	H8.11	18	-	ボラ団体のみ
ボラネットみどり (事務局：緑区社会福祉協議会)	H12.3	18	3	ボラ団体・個人・NPO 団体
名東区ボランティア連絡会 (事務局：名東区社会福祉協議会)	S61.6	14	-	ボラ団体のみ
ふれ愛ネット天白 (事務局：天白区社会福祉協議会)	H9.3	17	-	ボラ団体・福祉施設・ 当事者団体・当事者支 援団体・NPO

※あつたボランティアねっと（事務局：熱田区社会福祉協議会 H18.3 設立～H28.6で解散）

5 名古屋市傾聴ボランティアの会(平成26年6月設立)

会員相互の連携を図るとともに、市民の傾聴ボランティア活動に対する理解を深め、傾聴ボランティア活動への参加の促進を通して、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

(1) 構成団体

14 団体

(2) 代表

地域ボランティアかがやき 近藤 京子氏

(3) 例会

<第1回>

日時：令和3年6月18日（金）10:00～12:00

場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室

内容：総会

テーマ「交流」（担当：宮前・西うさぎ・こころん昭和）
情報交換

参加者：10団体41名

<第2回>

日時：令和3年9月17日（金）10:00～12:00

場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

内容：協議・検討（研修会について等）

テーマ「グループ運営」（担当：ほっとはあと）
情報交換

参加者：9団体33名

<第3回>

日 時：令和3年12月3日（金）10:00～12:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

内 容：協議・検討（研修会について等）

テーマ「事例報告」（担当：華蓉会・かがやき・みみちゃん）

情報交換

参加者：10団体40名

<第4回>

日 時：令和4年3月4日（金）10:00～12:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

内 容：協議・検討（研修会について等）

テーマ「事例報告」（担当：ひまわり・はばたき・きたちゃん）

情報交換

参加者：10団体34名

(4) 企画運営委員会

令和3年5月28日（金）、8月20日（金）、11月19日（金）

令和4年2月4日（金）

(5) 研修会

テーマ：「精神障がいについて学ぼう！」

日 時：令和4年3月4日（金）13:30～15:30

会 場：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

講 師：メンタルネットきた

参加者：10団体48名

10 福祉教育・ボランティア体験学習の推進

1 福祉学習サポーターの拡充(令和2年～6年度の5カ年)

福祉学習サポーターの目的・役割を改めて、5カ年で養成していくとともに、区社協と福祉学習サポーターが協働し、学校のみでなく、地域における福祉教育・学習を推進する。

(1) 養成目的

地域で福祉学習を推進する協力者として、自身の体験・経験を参加者に伝え、参加者が地域の課題等に気づき、自ら解決に取り組むように働きかけるメンバーを養成する。

(2) 福祉学習サポーターの役割と3つの力

参加者が福祉意識・共生意識を高めることのできる内容を伝える。

①作り出す力(プランニング)

参加者の学びを深めるプログラムの内容を区社協等と共に検討する力。

②伝える力(プレゼンテーション)

自身の経験から参加者の共生意識が深まる内容、メッセージを自らの言葉で伝える力。

③振り返りを深める力(リフレクション)

体験学習で終わらず、効果的な振り返りを通して、参加者の学びを深める力。

(3) 養成実績

8名

〈令和3年度養成人数〉(カッコ内：平成27～令和2年度のサポーター総数 計187名)

千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
0(14)	0(8)	0(8)	0(6)	0(7)	3(12)	1(16)	1(18)
熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
0(10)	0(17)	1(17)	0(7)	0(11)	1(14)	0(13)	1(9)

(4) 事業スケジュール

日にち	内 容
4月15日	新担当者向け区社協福祉教育担当者会 ◆説明事項 ・福祉教育の目的や必要性について ・福祉教育事業について ・福祉教育プログラムについて ・コロナ禍での福祉教育について ・全社協のプログラムについて
5月20日	第1回区社協福祉教育担当者会 ◆説明事項 ・今年度の福祉教育の取り組みについて ・コロナ禍における新しい福祉教育プログラムの説明 ・福祉学習サポーターフォローアップ研修について報告
8月5日	【第1部】 地域共生社会の実現に向けて 学校や地域で育む福祉のセミナー ～福祉教育・福祉学習からはじまる地域づくり～

	<p>【説明】名古屋市社協の福祉教育の取り組みについて 名古屋市社協 地域福祉推進部</p> <p>【公開講演会】共に生きる力を育む福祉教育 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹氏 参加者：56名</p> <p>【第2部】 令和3年度 福祉学習サポーター養成研修 ・福祉教育の取組みと福祉学習サポーターについて ・グループワーク「コロナ禍における福祉教育プログラムの実施について考えよう！」 参加者：40名</p>
11月19日	<p>第2回区社協福祉教育担当者会</p> <p>◆説明事項 ・各区福祉教育の取り組み状況について 地域課題に着目したプログラム コロナ禍における工夫 プラットフォーム</p>
2月5日	<p>福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや 「福祉のリアルをどう伝えるか」</p> <p>【主催】 福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや実行委員会</p> <p>◆内容 講演 講師：社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原 裕介氏 対談・トークセッション・全体ディスカッション</p>
2月24日	<p>福祉学習サポーターフォローアップ研修</p> <p>【実践報告】地域での福祉教育・学習推進事例 ・区の福祉学習サポーター、社協職員による実践報告</p> <p>【グループワーク①】 実践報告についてグループ内で感想共有</p> <p>【グループワーク②】 今後の福祉教育の取り組みや展開について意見交換</p>

2 なごや出張福祉学習

地域住民の福祉意識や共生の意識を高めるため、市・区社協職員（専門職員を含む）が推進協・施設・大学・企業等、地域に出向いて福祉学習の機会を創出する取り組み。

<実績>

なごや出張福祉学習の実施回数および参加者数等集計結果（令和3年度累計）										
	実施件数	学 習 内 容								参加人数
		計画説明	社協概要	ボランティア	つき（居場所・関係）	関係	福祉教育プログラム	（プログラム集）	その他	
千種区	3					1	2			13
東区										
北区										
西区										
中村区	3	1	1	2	2		1			40
中区										
昭和区	5	1	3	2	3	1	2			67
瑞穂区	1		1						1	9
熱田区										
中川区										
港区										
南区										
守山区										
緑区	1		1							4
名東区										
天白区	4						4			93
市社協	2			2						75
権利擁護	104					104				4,258
障害者差別	22						22			662
3年度 全市合計	145	2 1.3%	6 3.8%	6 3.8%	5 3.2%	106 67.5%	31 19.7%	0 0.0%	1 0.6%	5,221

3 福祉教育・ボランティア学習の実施

(1) 対象

市内の小・中・高・特別支援学校、地域団体

(2) 福祉教育・ボランティア学習の実施回数および参加者数等集計結果

	実施件数	実施プログラム数	実施プログラムメニュー内訳										参加人数	体験者人数	対応状況					
			車いす	手話	点字	ガイドヘルプ	盲導犬	高齢者疑似体験	講演・講話	交流	活動	ワーク・実地			(コロナ)	その他	職員派遣	協力者の調整	体験資機材等の提供	案・検討
千種区	7	14	2	1	3	1			7						1,166	956	7	7	6	2
東区	9	17	4	1		2		1	3	1	4		1	1,259	1,099	9	8	2	5	
北区	11	30	5	1		4			8	7	4		1	1,301	1,243	10	5	2	4	
西区	13	24	4	5	1	1		1	8	4				1,538	1,519	13	13	1	5	
中村区	10	23	3	1		1		1	9	5	2		1	591	591	10	8	6	7	
中区	13	33	2	3	1	1			10	11	4		1	740	725	12	7	4	6	7
昭和区	8	20	1	1		4		1	6	6	1			718	668	8	6	1	6	2
瑞穂区	2	9	1	1		1		1	2	2		1		528	528	2	2	2	2	
熱田区	3	4			1				2	1				405	200	3	2	1		
中川区	13	40	3	3	1	4	2	5	11	10	1			2,174	1,940	13	12	9		
港区	10	20	3	3				3	5	1	5			390	356	7	7	3	6	
南区	8	16	3			2		5			5		1	1,006	952	1		8	8	3
守山区	5	7		2					5					309	150	5	5			
緑区	12	42	1	2	4	4		5	12	1	12		1	3,110	2,966	11	12	8	1	
名東区	17	27	5	3		1		1	13				4	3,693	2,363	16	16	7	7	
天白区	11	18	2	2	2	4		3	5					1,419	1,419	11	11	8	1	
3年度 全市合計	152	344	39	29	13	30	2	27	106	49	38	1	10	20,347	17,675	138	121	68	60	12
			11.3%	8.4%	3.8%	8.7%	0.6%	7.8%	30.8%	14.2%	11.0%	0.3%	2.9%							

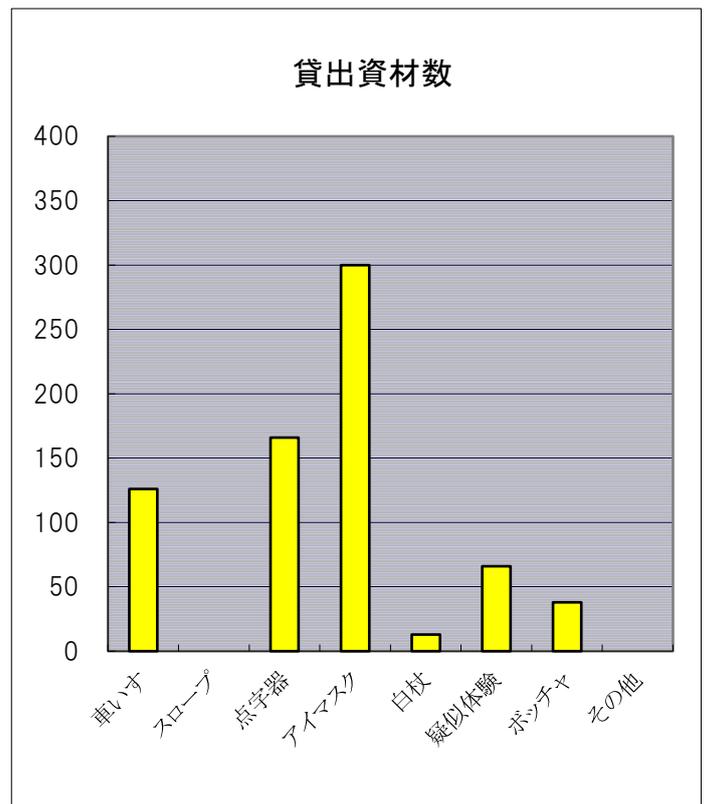
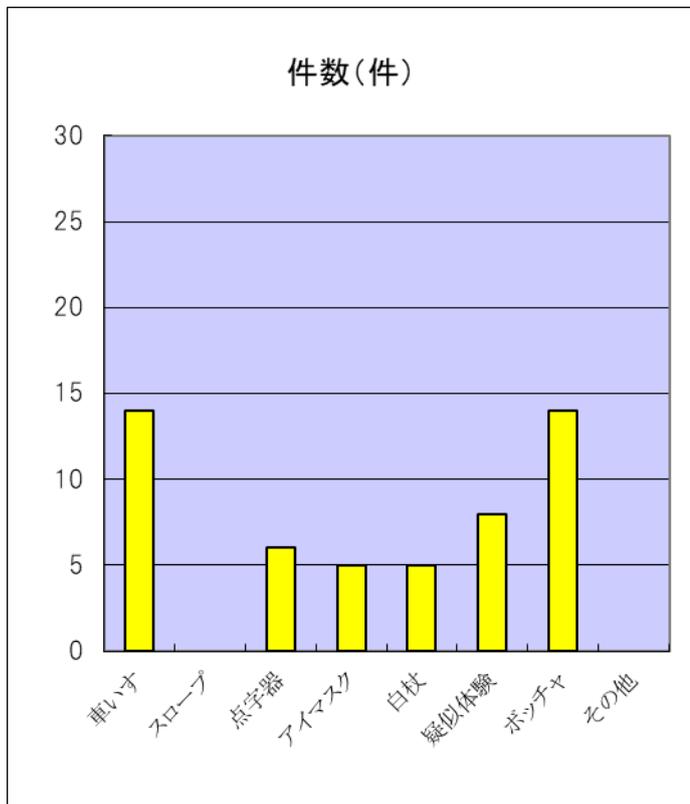
4 福祉教育等資材の貸出し

学校等で行う福祉体験学習に対して、以下の資材の貸出しを行った。

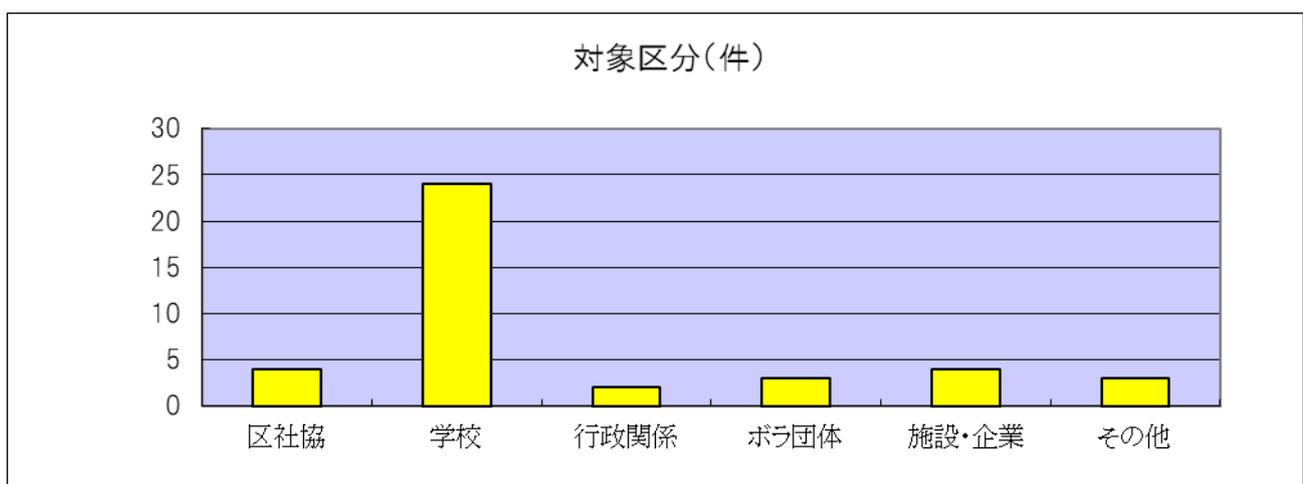
資 材	資 材 数	貸出件数
車いす	32台	14
車いす用スロープ	3セット	0
点字器	241個	6
アイマスク	120個	5
白杖	9本	3
高齢者疑似体験セット	21セット	8
ポッチャ	5セット	14

<福祉教育等資材貸出実績>

【貸出資材】	車いす	スロープ	点字器	アイマスク	白杖	疑似体験	ポッチャ	その他	計
件数(件)	14	0	6	5	5	8	14	0	52
貸出資材数	126	0	166	300	13	66	38	0	709



【対象区分】	区社協	学校	行政関係	ボラ団体	施設・企業	その他	計(件)
全体	4	24	2	3	4	3	40



5 福祉読本「ともに生きる」の発行

児童期から社会福祉への理解と関心を高め、社会連帯の精神を養うことを目的に、道徳や特別活動における参考資料としての冊子を作成し、配布するもの。

(1) 配布対象

名古屋市内の全小学校及び特別支援学校の5年生と教員

(2) 作成部数

22,000部

(3) 内容

- ① ふれあう ささえあう いろいろな人とかかわりあうわたし・身近な人々とかかわる・
地域を知ろう・ふだんのくらしのしあわせ
- ② ともに生きる 幼児とともに・お年寄りの方とともに・障がいのある人とともに
- ③ 福祉でまちづくり 人にやさしいまちづくり・はじめてみようボランティア・
福祉をささえる

11 災害ボランティア活動の推進

1 災害ボランティア関係団体との連携

(1) 「なごや災害ボランティア連絡会」への参画

名古屋市と締結している「災害時における一般ボランティアの受入活動に関する協定書」に基づく関係機関が、平常時からの連携とネットワーク化を図ることを目的とした連絡会に、常任幹事として参画

(2) 災害ボランティアコーディネーターなごや総会等への参加

(3) 名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座への協力

名古屋市が実施する養成講座への企画・実施に協力

★「なごや災害ボランティア連絡会」構成団体

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、各区災害ボランティア団体16団体、災害ボランティアコーディネーターなごや、あいち防災リーダー会名古屋ブロック、名古屋市、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、公益財団法人名古屋国際センター

★市内の災害ボランティアネットワークの設置状況

(設立順)

No.	区域	団体名	設立年月
1	市全域	災害ボランティアコーディネーターなごや	H14.11
2	守山	防災ボラネット守山	H15.8
3	港	名古屋みなと災害ボランティアネットワーク	H15.11
4	緑	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク	H16.4
5	北	名古屋きた災害ボランティアネットワーク	H16.6
6	天白	天白でいぷり	H16.8
7	名東	名東区災害ボランティアの会	H17.3
8	東	名古屋ひがし防災ボランティアネットワーク	H17.5
9	南	名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク	H18.2
10	中川	名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク	H18.12
11	瑞穂	名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク	H19.8
12	西	なごやにし防災ボランティアの会	H19.8
13	昭和	なごや防災ボランティアネットワーク昭和	H19.11
14	中村	なごや中村災害ボランティアネットワーク	H21.3
15	中	なごや防災ボランティアネットワークなか	H21.7
16	熱田	あつた災害ボランティアネットワーク	H21.9
17	千種	災害ボランティアちくさネットワーク	H21.12

2 災害ボランティアセンター三者合同研修

災害ボランティアセンターの設置・運営においては、市・区役所、市・区社会福祉協議会、災害ボランティアの連携・協働が重要であり、平成18年度からその三者が一堂に会する研修を実施してきた(平成23年度は中止)。当年度は、南海トラフ地震の被害想定を元にした実践型複数区合同で災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行い、円滑なセンター運営に関する協議や情報共有を行うことを目的として開催した。

(1) 担当者研修会

日 時：令和4年1月18日(火) 14:00~17:00

場 所：オンライン (Zoom)

内 容：「水害被害後の対応・取り組みについてをぶ」

講師：震災がつなぐ全国ネットワーク

事業担当責任者 松山 文紀 氏

「令和3年度災害ボランティアセンター三者合同研修について」

参加者：18名(区社協15名/市社協3名)

(2) 当日

日 時：令和4年1月30日(日) 10:00~16:00

場 所：オンライン (Zoom)

内 容：●基調講演「令和3年7月大雨の社協とボランティアの動き、これまでの災害に対する備え」

講師：静岡県社会福祉協議会 福祉企画部地域福祉課長 松浦 史紀 氏

NPO 法人静岡県ボランティア協会 事務局長 鳥羽 茂 氏

コーディネーター：(認特)レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

●情報共有「災害ボラセン立ち上げまでのタイムライン(三者の動き)」、

「関係機関との連携状況」、「資機材分散管理の状況」、

「発災時のITを活用した事前受付の仕組みの構築状況」

●意見交換、基調講演・対談に関する質疑応答 等

主 催：なごや防災ボラネット、名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

参加者：139名(なごや防災ボラネット：76名、市・区役所：27名、市・区社協27名、

SeRV・アレルギー支援ネットワーク等外部支援者：9名)

3 愛知県社協「市町村社協災害対応支援部会」への参加

愛知県社協「市町村社協災害対応支援部会」へ委員として職員を推薦、会議に参加

4 東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営

東日本大震災の発生を受けて、名古屋市に避難されている方の支援と被災地域におけるボランティア活動希望者への情報提供等を目的に、センターを運営。

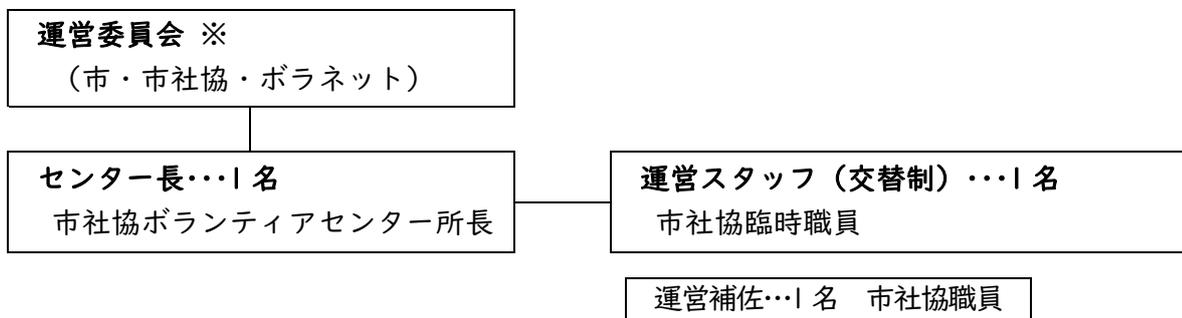
(1) 概要

設置主体	名古屋市（以下「市」という。）
運営主体	名古屋市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）
運営協力	なごや防災ボラネット（以下「ボラネット」という。）
開設日	平成23年4月14日(木)
開設時間	午前9時～午後5時（※土・日・休日を除く）
開設場所	名古屋市総合社会福祉会館5階 名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター内

(2) 機能

- ①市内にお住まいの被災者の生活支援に関するニーズの把握とボランティアによる支援
- ②被災地域におけるボランティア活動を希望する方に対する相談、情報提供

(3) 運営体制



※運営委員会委員（5名）

市社協事務局長	柄澤 克彦
なごや防災ボラネット(名古屋ひがし防災ボランティアネットワーク代表)	小野 月比古 氏
なごや防災ボラネット（認定NPO法人レスキューストックヤード代表理事）	栗田 暢之 氏
名古屋市市民活動推進センター 所長	織田 和隆 氏
市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課長	大須賀 竜一 氏

①運営委員会【開催実績】

回	日時・場所	人数	内容（議題等）
1	令和3年6月4日(金) 13時30分～15時00分 Zoom ミーティング	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度センターの運営実績について ・令和3年度センターの運営について ・お茶っこサロンについて ・メッセージ交流企画について
2	令和4年2月4日(金) 10時00分～11時30分 Zoom ミーティング	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの運営状況等について ・アンケートと訪問で把握した被災者の状況について ・令和4年度のセンターの設置・運営について

② 窓口開設日数

合計 242 日（開設以来のべ 2,665 日）

③ 関係会議

- ・東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや連絡会…毎月1回開催
- ・お茶っこサロン実行委員会…年5回開催
- ・県・市センター連絡会…毎月1回開催

(4) 運営実績

①相談実績

被災者からの相談	228 件	内訳 [ニーズ受付] [情報提供]	28 件 200 件
ボランティア活動希望(個人)	0 件	内訳 [登録] [情報提供]	0 件 0 件
ボランティア活動希望(団体)	3 件	内訳 [登録] [情報提供]	0 件 3 件
物資提供希望	1 件		
その他	46 件		
(相談件数) 合計	278 件	内訳 [来所] [訪問] [電話]	28 件 44 件 206 件
★開設以降の (相談件数) 累計	6,385 件		

②市内での活動実績

市内での活動実績	ボランティア活動件数 4 件 (延べ活動者数 5 名) お茶っこサロン協力 1 回 (延べ活動人数 14 名) 職員活動 (訪問等) 件数 44 件 (延べ職員数 44 名)
★開設以降の市内での活動実績	活動件数 802 件 (延べ活動者数 1014 名) お茶っこサロン協力 57 回 (延べ活動人数 960 名)

③区社協に対するケース引継・情報共有

被災者の状況に応じて、随時ケース引継・情報共有を実施。全世帯へアンケート送付時に、地元の区社協やいきいき支援センターなどの情報も併せて提供。

④センターを通じて被災者に提供したもの及び招待事業

- ・12月 お菓子 (レスキューストックヤードを経由して明治製菓) …訪問時に子どもへの手土産

⑤センター運営等に関するアンケート実施

- ・近況やセンターの運営に関するアンケートを送付。現在、名古屋での生活で悩んでいること、身近な相談先、近所づきあいや地域活動への参加、センターに望む支援などを聞いた。

■ 123 世帯に送付し、55 世帯から回答あり (回収率 44.7%)

⑥情報発信実績

- センターホームページでの情報発信

(<https://www.nagoya-shakyo.jp/mokuteki/m-volunteer/v-torikumi/vc/>)

「センターからのお知らせ」及び毎月の実績等を掲載

- 「センターからのお知らせ」(被災者向け情報紙) 発行実績

令和3年4月～令和4年3月<隔月発行> 通算6号(第131号～第136号)発行

⑦「お茶っこサロンなごや」の開催

被災者の交流やリフレッシュの場として、年2回「お茶っこ(東北の言葉で「お茶をする」の意味)サロンなごや」を開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響のため1回の開催とした。企画及び運営には、「お茶っこサロンなごや実行委員会」(ボランティア)に協力いただいた。

<開催実績>

	日にち	会場	参加 世帯数	参加 人数	(参加者内訳)	
					大人	子ども
第 57 回	3/26 (土)	名古屋城 (中区)	12	32	22	10
令和 3 年度合計			12	32	22	10
合計 (開始以来の延べ数)			633	1,484	808	676

⑧「語り部派遣事業」の開始

名古屋へ避難されてきた方による語り部の派遣事業を開始。当時の被災体験や、今に至るまでの道のりを当時の写真や資料を示しながら伝えるとともに、今後災害を迎えるであろう名古屋に住む人たちへのメッセージを伝えることで一人一人の防災意識を高め、被災者への理解を深める機会とすることを目的とした。

令和 3 年度は 3 件の依頼に対応。

12 地域の支え手応援事業

地域福祉リーディングモデル事業として実施してきた事業を、財源がなくなるため令和元年度で終了。あらためて後継事業として企画した。

地域の支えあい活動、課題解決活動への参加、立ち上げや継続を応援する事業で、「住民の地域活動参加支援（マンパワーサポート）事業」「地域の困りごと解決応援助成（ファンドサポート）事業」「活動継続応援（アクションサポート）事業」の3事業を連動させながら実施し、人材養成から事業の企画準備・実施を支援している。

※「地域の困りごと解決」とは…

一人ひとりの生活上の困りごとを解消するために、地域住民の力で行う取り組み

（1）住民の地域活動参加支援（マンパワーサポート）事業

●ポストコロナ社会で私たちができることを考える講座

コロナ感染症が与えた地域福祉への影響を学ぶとともに、実際の活動へとつなげていくために開催。

開催月	11月～12月
回数	4回
時間	13:00～15:30
受講者数	52名

第2・3回は後日 YouTube 視聴可能

オンラインのみの受講者は26名

（2）地域の困りごと解決応援助成（ファンドサポート）事業

①助成団体募集・決定

●応募数10団体、助成決定数6団体

面接審査（事務局審査）：令和4年2月3日（木）・17日（木）

団体名	事業名	事業内容
家具解体ボランティア緑	家具解体ボランティア緑事業	不要な家具の撤去などが困難な世帯について、会員が利用者宅で家具解体を行い、分別して可燃ごみ等に入れ、原則各戸で出せるよう支援する事業
池上台ハウス管理運営委員会	食とまち遊びで地域のつながり強化事業	季節ごとの食事つき交流会、ラジオ体操と小学生の登校を見送る朝食交流会、まち遊びのお月見どろぼうなどを通じて町の交流を促進する事業
特定非営利活動法人まいゆめ	重症心身障害児者・医療的ケア児の防災事業	名古屋特別支援学校エリアの重症心身障害児者および医療的ケア児の災害時の情報や支援の基盤を固める事業
特定非営利活動法人ポパイ	喫茶コミミ事業	悩みや相談事の解決を図るのではなくふらりと立ち寄って話し、それに耳を傾ける喫茶店のような場所「喫茶コミミ」を実施する事業
子育て支援団体ハピサンハウス	学校について考える会事業	オンラインによる相談会・交流会や対象者同士の交流の場を運営できるようにするなど不登校の小中学生を持つ親や子どもたちの支援をする事業

団 体 名	事業名	事業内容
伊勝学区社会福祉協議会	地域交流の郷事業	老若男女問わない困りごと相談窓口を兼ね備えた地域交流の場をつくる事業

②前身事業「地域福祉リーディングモデル事業」当該年度助成

●「Aコース」助成（3年間で上限30万円助成）

2年次：3団体 3年次：2団体

●「Bコース」助成（3年間で31～上限200万円助成）

2年次：3団体 3年次：1団体 4年次：1団体

※ コロナの影響で延期した事業について、助成金の繰越を特別に認めた。

(3) 活動継続応援（アクションサポート）事業

①「まなびの会」開催 ※ 名古屋市ボランティア連絡協議会と協働

令和2年度に企画し延期していた「ボランティアのモチベーションをアップする方法—ポジティブなコミュニケーションのススメ」を、勉強会と位置づけ、5月9日(日)に実施。

リーディング助成団体1団体1名・地域の子ども応援事業助成団体1団体1名参加。

②「地域のこども応援事業 地域福祉リーディングモデル事業 近況報告会」の開催

日 時：令和3年7月4日（日）13:30～15:30

場 所：名古屋市総合社会福祉会館7F 大会議室

内 容：●第一部：自己紹介（団体・事業紹介）

5グループに分かれてそれぞれ共有

●第二部：近況報告（情報交換会）

5グループに分かれて、第1部の質疑応答、コロナ禍の中での活動で工夫した点や他団体に聞いてみたいことなどを共有

参加者：助成団体…28団体32名（うちリーディング助成団体：19団体21名）

③「広報に関する勉強会」の開催

日 時：令和4年3月10日（木）13:30～16:00

方 法：オンライン会議システム「Zoom」

内 容：●勉強会「広報の基本を押さえたうえでSNSを活用した広報に必要なポイントを学ぶ」

講師：特定非営利活動法人やさしいデザイン

WEBディレクター 宮嶋 健人 氏

参加者：講座受講生…7名

助成団体…11団体15名

④ NPO法人による無料個別相談の開催

随時実施 相談件数 0件

⑤ 助成団体の事業進捗状況把握、助言等

随時実施

13 市・区社協ボランティアセンターの機能強化

1 区社協ボランティアコーディネーター連絡会・研修会

(1) 新任者研修

日時：令和3年4月20日（火） 13時30分～15時30分

場所：Zoom ミーティング（オンライン開催）

内容：ボランティアセンターの各種事務について

ボランティア登録の種別／登録ボランティア活動状況調査について など

参加者：5区社協5名、市社協5名（途中まで）

(2) 第1回連絡会

日時：令和3年5月12日（水） 13時30分～16時

方法：Zoom ミーティング（オンライン開催）

内容：市社協ボラセンの取組み方針、市社協ボラセンの事業概要と各事業等について、登録ボランティア情報管理システム「みみライン」について

情報交換・意見交換（今年度のボラコ顔合わせ、テーマ：各区社協の取組み＋宅に聞きたいこと）

参加者：15区社協15名、市社協5名

(3) ボランティアコーディネーター研修会

日時：令和4年3月2日（水） 13時30分～17時15分

方法：Zoom ミーティング（オンライン開催）

内容：「合意形成の進め方～社協職員に必要なファシリテーション～」

講師：パブリック・ハーツ株式会社 代表取締役 水谷 香織 氏

参加者：14区社協16名、市社協5名

2 愛知県社協主催「愛知県ボランティアコーディネーター養成講座」受講勸奨

ボランティアコーディネートをを行っている職員対象に受講を勸奨（市社協にて参加費負担）

4区社協4名（うち1名は昨年度未受講分のみを受講）

3 「市社協ボラセン通信」の発行

奇数月1回（計6回）発行

4 機能強化に関連する各種指針・マニュアル等の整備と啓発

(1) 名古屋市・区社協ボランティアセンター機能強化指針（平成26年2月策定）

(2) ボランティアセンター事務マニュアル（平成30年3月発行）

(3) ボランティアコーディネーターハンドブック（平成27年3月発行）

(4) 区社協ボランティア担当者の役割整理（令和元年度発行）

上記いずれも「区社協ボランティアコーディネーター連絡会」等で紹介、啓発

14 他機関との連携・協力、ボランティア活動に関する調査・研究

1 名古屋市市民活動推進センターとの連携・協力

- (1) ぼらマッチ！なごや ※再掲
- (2) Zoom 講座パソコン編（入門&初級コース、中級コース）、スマホ編 ※再掲

2 大学等との連携・協力「大学ラウンドテーブル」

学生による地域福祉活動を推進していくためのイベント実施に向けて年7回会議を行い検討。

①参加大学

愛知大学（学生課）、愛知学院大学（地域連携センター）、愛知淑徳大学（コミュニティ・コラボレーションセンター）、愛知東邦大学（地域・国際交流課）、愛知みずほ大学（短期大学事務局）、中京大学（学生支援課）、同朋大学（事務部）、名古屋学院大学（社会連携センター）、名古屋市立大学（学生課学生支援係）、名城大学（社会連携センター）

②会 議

- 第1回……………令和3年4月20日（火）
- 第2回……………令和3年5月24日（月）
- 第3回……………令和3年8月19日（木）
- 第4回……………令和3年10月22日（金）
- 第5回……………令和3年11月19日（金）
- 第6回……………令和4年1月24日（月）
- 第7回……………令和4年3月10日（木）

③イベント

- 10大学合同ボランティア活動フェスタ 1日目
日 時：令和3年8月27日（金）13：30～15：45
開催方法：オンライン
内 容：各大学のボランティア活動紹介・コロナ禍での困りごとについてワーク
参加者：25名
- 10大学合同ボランティア活動フェスタ 2日目
日 時：令和3年9月3日（金）13：30～16：30
開催方法：オンライン
内 容：ボランティア活動実践者からコロナ禍での活動について講話・他大学とのコラボをテーマにワーク
参加者：25名
- 交流企画第2弾 チーム対抗クリーンアップ作戦 in 大須商店街
日 時：令和3年12月18日（土）9：45～12：00
場 所：大須商店街
内 容：チーム対抗の清掃ボランティア・他大学との情報交換
参加者：17名

3 市民への意識調査の実施及び参加支援

年々、地域住民のコミュニティ意識が希薄化する中、地域コミュニティの崩壊抑止と地域福祉活動を推進するための協力者を確保するため、また、今後さらに増加が見込まれる生活支援ニーズに対応する活動者を増やすために、なごやか地域福祉 2020 方策⑤「多様な主体の参加促進」の取り組みとして、市民意識調査を行う。

まずは総務省や内閣府、民間調査機関等の既存の調査結果を収集・分析し、市民に対する意識調査の内容を検討した。

そして、完成した調査票を、ボランティア登録者や社協主催事業への参加者、社協参加会議への協力依頼などを行った(700 枚以上配付、オンライン会議で web 回答案内等)。今後は、調査結果を分析し、新たな取り組みを検討し、実施していく。

また、未活動だが地域行事や講座などに参加する層、地域活動に関心がある層などを対象にした市民向けの講演会を、地域の支え手応援事業 住民の地域活動参加支援事業「ポストコロナ社会で私たちができることを考える講座」に、興味のある方の理解を深めるなど、より効果的な働きかけをするため、併せて実施した。

●ポストコロナ社会で私たちができることを考える講演会

日時：令和3年9月17日(日)

場所：名古屋市総合社会福祉会館

内容：「町内会長日記-コロナ時代の共助を考える-」中日新聞社 社会部 記者 鈴木 龍司氏

参加者：51 人(オンライン申込 25 人)

4 他機関・団体等主催の会議等への参加・協力等

No.	会議等名称	主催等	期間	職員
1	NPO おたがいさま会議	事務局：認定 NPO 法人レスキューストックヤード、一般社団法人日本福祉協議機構	令和2年5月～ (原則毎週火曜日)	次長
2	NPO おたがいさま会議コア会議	事務局：認定 NPO 法人レスキューストックヤード、一般社団法人日本福祉協議機構	令和3年5月～ (原則毎週金曜日 →その後、毎週火曜日に変更)	次長

5 他機関・団体等への講師派遣の状況

(参加者数は概算)

期日	事業名	講義内容など	対象者	参加者数(人)	主催
R3.9.11	防災・減災カレッジ Vco コース	災害 VC 設置・運営等	県民	34	あいち・なごや強靱化共創センター等
R3.10.3	災害ボランティアコーディネーター養成講座	社協と災害ボランティアコーディネーターとの関わり	市民	45	名古屋市スポーツ市民局
R3.12.18	防災・減災カレッジ Vco コース	災害 VC 設置・運営等	県民	14	あいち・なごや強靱化共創センター等
R4.2.6	災害ボランティアコーディネーター養成講座	社協と災害ボランティアコーディネーターとの関わり	市民	30	名古屋市スポーツ市民局

6 他機関・団体の外部委員等への就任状況

No.	委員	期間	職員
1	名古屋市市民活動の推進にかかる懇談会 (旧：名古屋市市民活動推進協議会)	平成24年10月～	部長
2	市町村社協災害対応支援部会 (旧：災害救援ボランティアセンター部会)	平成19年～	次長
3	名古屋市イーパーツリユース PC 寄贈プログラム に関する意見聴取会	平成24年～	次長

7 全国会議・ブロック会議等への参加状況

会議名	開催年月	場所
福祉教育担当者会議	令和3年5月	オンライン
令和3年度都道府県・指定都市社会福祉協議会 災害ボランティア 等に関する情報共有会議	令和3年5月	オンライン
東海北陸ブロック県・指定都市社協地域福祉担当部課所長会議	令和3年7月	オンライン
令和3年度 全国福祉教育推進員研修	令和3年9月	オンライン

◆ボランティアセンターのあゆみ

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアビューロー）	登録人数 （人）	関連事項
26	市社協設立		（統計なし）	社会福祉事業法公布
48	奉仕銀行開設（後にボランティアビューロー⇒ボランティアセンター）		（統計なし）	オイルショック
55	ボランティアビューローに改称	社会福祉協力校事業 （守山でスタート）	（統計なし）	
56	福祉読本の発行開始		（統計なし）	国際障害者年
57	ボランティアセンターに改称 名古屋市子ども会ボランティア研修会助成開始		1,922	市総合社会福祉会館オープン 名古屋市福祉基金事業（助成）開始
58	社会福祉協力校事業開始（全市展開） ボランティア手帳の配布開始 愛知県ボランティア集会の開催（県社協と共催）		2,134	
59	ボランティア情報紙発刊 ボランティア保険料一部補助制度開始 里親ボランティア事業開始	区社協ボランティア ビューロー開設	5,855	日本人の平均寿命男女とも 世界1に
60	地域ボランティア養成講座（63年度まで）		7,044	
61	おもちゃ図書館「ともだち」開館	名東区ボランティア 連絡会設立	8,542	
62		サマーボランティア スクール（東区で スタート）	9,220	社会福祉士・介護福祉士法 公布
63	名古屋市おもちゃ図書館連絡会の結成	中村区ボランティア 連絡協議会設立	10,640	マル優制度原則廃止
平成 元	社会福祉活動実践校事業開始	南区ボランティア 連絡協議会設立	11,888	
2	ほっとはあとキャンプ開始 第1回愛知県ボランティア大会（県社協と共催）		13,619	
3	第1回名古屋市ボランティア集会開催		14,912	ソビエト連邦解体
4	冊子「今日からあなたもボランティア」送付開始 第2回名古屋市ボランティア集会開催		17,026	社協新基本要項策定
5	企業の社会貢献フォーラム開催（平成7年度まで） ノート型点訳パソコン貸出事業開始（令和2年度まで） 第3回名古屋市ボランティア集会開催		19,051	厚生省告示第117号中社審 意具申 ふれあいネットワークプラン21基本 構想策定

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアビューロー）	登録人数 （人）	関連事項
6	ゆめびっくボランティアの募集 阪神・淡路大震災支援ボランティアの登録 企業の社会貢献調査の実施・報告書発行 企業ボランティア活動の手引き発行 愛知県ボランティア大会（県社協と共催）	昭和三区ボランティア 連絡協議会設立	20,297	阪神・淡路大震災 ゆめびっくあいち開催 名古屋市地域福祉推進計画 策定
7	区社協ボランティアビューロー活性化事業開始 第4回名古屋市ボランティア集会開催 初心者向けパンフレットの作成	西区福祉ボランティ ア連絡協議会設立	22,375	ボランティアセンター国庫 補助開始
8	登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 企業社会貢献実態調査（追跡調査） 第5回名古屋市ボランティア集会開催 リーダーボラ研修会開催 名古屋市点訳ボランティア連絡会結成準備 重油流出事故支援ボランティア活動情報の提供	ふれあいねっとと天白 設立（ボラ等連協） 守山区ボランティア 連絡協議会設立	28,602	ナホトカ号重油流出事故
9	ボランティアアドバイザー（中央郵便局ボランティア相談員） 研修の開催 ボランティア（市民活動）支援システム構築に関する 基本構想書の作成 第6回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ゆうあいピックボランティアの募集		31,888	NPO法成立 介護保険法成立 ゆうあいピック愛知・名古屋 開催 市民フォーラム21・NPO 支援センター設立 児童福祉法等の一部改正
10	第3回愛知県ボランティアフェスティバル（県社協と共催） シャチボラ連続学習会開催 名古屋点訳ネットワークの結成 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ねんりんピックボランティアの募集		32,834	
11	高校生介護体験特別事業開催 高齢者疑似体験インストラクター研修会 盲導犬歩行体験インストラクター研修会 福祉教育資料貸出 第7回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ボランティア情報ネットワークシステム導入	緑区ボランティア 連絡協議会設立 守山区、千種区ボラ ンティアセンター設 置	35,235	
12	第8回名古屋市ボランティア集会開催 環境デーなごやへの協力 ガイドネットワークなごやの結成 シーンボイスガイド実行委員会 第4回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2000～への 出展 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新	中村区、南区、瑞穂 区ボランティアセン ター設置	35,912	介護保険制度開始 社会福祉法施行 東海豪雨災害
13	勤労者マルチライフ支援事業受託(15年度まで) ボランティア団体、NPO研修 ボランティアコーディネーター研修会 第9回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 情報ネットワークシステム操作説明会 シーンボイスガイド養成講座	中区、昭和区、港区、 熱田区ボランティア センター設置 東区ボランティア連 絡協議会設立	71,305	新・名古屋市地域福 祉推進計画策定 創立50周年社協全国会議 開催 ボランティア国際年 全社協第2次ボランティ ア・市民活動推進5ヵ年プ ラン策定

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協（ボランティアセンター）	登録人数（人）	関連事項
14	盲導犬歩行体験インストラクターフォローアップ研修 第4回あいちボランティアフェスティバル（県社協と共催） 子育てフェスタ in あいち NPOアワード	千種区、中区、港区 ボランティア連絡協議会設立	69,302	なごやボランティア・NPOセンター設置 身体障害者補助犬法施行
15	第10回名古屋市ボランティア集会開催 区ボランティア連絡協議会代表者懇談会・役員研修会開催 福祉教育推進にかかる検討会設置 市社協ボランティアセンター運営指針作成 ボランティア体験学習事業助成の開始		81,080	支援費制度開始
16	平成16年度なごや福祉教育セミナー開催 「福井豪雨水害」「新潟県中越地震」への職員・ボランティアの派遣 市社協防災マニュアルの作成 ボランティア・NPOフェスタ2005開催	ボランティアセンターに名称を統一 各区社協地域福祉活動計画策定	63,380	福井豪雨水害 新潟中越地震
17	平成17年度なごや福祉教育セミナー開催 ボランティア・NPOフェスタ2006開催 名古屋市ボランティア連絡協議会設立 メールマガジン「なごメール」配信開始	熱田区ボランティア連絡協議会設立	67,475	愛知万博開催
18	第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや名古屋ブロック実行委員会設立 平成18年度なごや福祉教育セミナー開催 全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや 名古屋ブロックプレフェスティバル開催 福祉学習サポーター養成研修開催（～20） 「能登半島地震」への職員の派遣（～H19.5）		69,908	第3次市社協地域福祉推進計画策定 能登半島地震
19	第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや開催 IAVEアジア太平洋地域ボランティア会議開催 ふれあい名古屋リニューアル発行（「ほっとはあと」と合併発行）		71,923	全社協第3次ボランティア・市民活動推進5ヵ年プラン策定 新潟県中越沖地震
20	名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業受託実施 名古屋市災害ボランティアセンター設置 地域協働子育てフォーラム開催 ボランティア・NPOフェスタなごや2009開催	各区社協第2次地域福祉活動計画策定	73,072	平成20年8月末豪雨災害
21	第16回日本福祉教育ボランティア学習学会あいち・なごや大会開催 ボランティア・NPOフェスタなごや2010開催 新・登録ボランティア情報管理システム導入		76,718	

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協（ボランティアセンター）	登録人数（人）	関連事項
22	地域福祉リーディングモデル事業 人づくり応援事業 人づくり応援事業形態変更・活動資金応援事業助成金額等変更 ボランティア・NPOフェスタなごや2011開催		81,904	東日本大震災
23	「東日本大震災」への職員の派遣（～H23.11） 東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営（受託実施23.4～） 岩手県大槌町ボランティアバスの運行（4便） 三重県紀宝町ボランティアバスの運行（5便） ボランティア・NPOフェスタなごや2012開催 福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや開催（以降毎年継続実施）		87,004	名古屋市市民活動推進センター開設 平成23年9月 台風12号 平成23年9月 台風15号
24	地域福祉リーディングモデル事業 人づくり応援事業 市社協運営へ移行 ばらチャリの実施（～27まで実施） 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド」の発行		89,632	
25	名古屋市傾聴ボランティアの会の組織化 「名古屋市・区社協ボランティアセンター機能強化指針」の策定 「福祉教育実践ポイントガイドブック」の作成	各区社協第3次地域福祉活動計画策定	93,253	7月18日までの大雨被害 7月22日大雨被害 7月28日大雨被害 台風18号 2月14日～15日大雪災害
26	大槌町復興支援ボランティアバス実施 「ボランティアセンター事務マニュアル」改訂 「ボランティアコーディネーターハンドブック」の発行		89,537	台風8号 台風12号による大雨 台風11号 8月15日からの大雨 8月19日からの大雨 なごやか地域福祉2015策定
27	福祉学習サポーター養成研修開催（28以降継続） なごやボランティア楽集会の実施（28以降継続） ばらマッチなごや！の主催に参画 ガイドネットワークなごや15周年		111,536	本会第2次経営戦略計画策定 市区町村社協ボランティア・市民活動センター強化方策2015策定
28	「熊本地震」への職員の派遣 おもちゃ図書館ともだち30周年 名古屋市ボランティア連絡協議会10周年 なごやのボランティア史編纂委員会へ参画 市民セクター対応協議会へ参画（29以降継続）		96,954	熊本地震 台風10号 鳥取県中部地震 新潟県糸魚川市大規模火災
29	市・区社協ボランティアセンター機能質的評価調査実施 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド追加補足版」の作成協力 「学校・地域で育む「ともに生きる力」～福祉学習サポーターと区社協が協同した福祉教育実践事例集」の作成		90,790	九州北部豪雨災害 秋田県豪雨災害 台風18号災害 台風21号災害

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアセンター）	登録人数 （人）	関連事項
30	区社会福祉協議会ボランティアセンター現状把握（訪問調査） 「平成30年7月豪雨」への職員の派遣 第24回日本福祉教育ボランティア学習学会あいち・なごや大会開催 市おもちゃ図書館連絡会30周年記念事業	各区第4次地域福祉活動計画策定	89,156	大阪府北部地震 平成30年7月豪雨 北海道胆振東部地震
令和 元	「台風19号災害（栃木市）」への職員の派遣 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド(タイムライン版)」の作成 地域の支え手応援事業開始		85,106	山形県沖地震 6月29日からの大雨 8月27日からの大雨 台風19号災害 なごやか地域福祉2020策定
2	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、市総合社会福祉会館臨時休館(4月10日～5月31日)。同年6月以降は各室の定員半減等の対応 「地域の支え手応援事業」開始 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド～新型コロナウイルス禍における設置・運営の考え方(追加補足版)～」の作成 コロナ禍における新しい福祉教育プログラム検討会の開催 「なごやボランティア物語」作成 (なごやのボランティア史編纂委員会)		82,042	新型コロナウイルス感染拡大 災害VCに係る費用の災害救助法の国庫負担の対象化
3	「コロナ禍における新しい福祉教育プログラム」の作成 ガイドネットワークなごや20周年(コロナの影響により1年遅れで行事開催) 「ポストコロナ社会で私たちができることを考える講演会」開催		74,452	令和3年7・8月大雨 令和4年福島県沖地震

所管事業名称等一覧表 (相談・需給調整部分および庶務・経理事務は除く)

事業名	開始年度
市社協ボランティアセンターの運営 ・ボランティア活動相談・情報提供 ・ボランティア登録制度の運用・情報管理 ・活動拠点・資器材の提供 ・ボランティア活動保険・行事用保険の受付	昭和55年度～(ボランティアビューロー) 昭和57年11月～(ボランティアセンター)
ボランティア顕彰 ・名古屋市民間社会福祉事業功労者表彰への推薦 ・愛知県ボランティア活動功労者表彰への推薦 ・ボランティア功労者にかかる厚生労働大臣表彰への推薦	昭和53年度～ 昭和55年度～ 昭和57年度～
福祉教育・ボランティア学習の推進 ・福祉読本「ともに生きる」の発行 ・社会福祉協力校 ・福祉体験学習資材の貸出し ・疑似体験インストラクターの養成・管理 ・福祉学習サポーター養成講座 ・日本福祉教育・ボランティア学習学会の共催(臨) ・福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや共催	昭和57年度～ 昭和58～平成23年度 昭和62年度～ 平成11年度～ 平成18～20年度、27年度～ 平成21年度 平成23年度～令和元年度
ボランティア活動情報の発信 ・市社協情報紙「ふれあい名古屋」内「ほっとはあとコーナー」編集(旧・ボランティア情報紙「ほっとはあと」発行) ・メールマガジン「なごメール」の配信 ・市社協ボランティアセンターホームページ開設 ・市・区社協登録ボランティア団体情報検索システム「なごやボラねっと」運営 ・なごや福祉ボランティア募集情報	昭和59年度～ 平成17～25年度 平成21～25年度 平成21年度～ 平成27年度～
家庭体験事業(旧：里親ボランティア事業)	昭和59年度～ ※平成30年度～施設ラインへ移管
ボランティアネットワーク組織の事務局 ・市おもちゃ図書館連絡会(おもちゃ図書館ともだちの運営) ・名古屋点訳ネットワーク(NBN) ・ガイドネットワークなごや ・市ボランティア連絡協議会 ・名古屋市傾聴ボランティアの会	昭和63年度～ 平成10年度～ 平成12年度～ 平成17年度～ 平成26年度～
ボランティア・NPOフェスタ(名古屋市ボランティア集会) ・名古屋市ボランティア集会 ・ボランティア・NPOフェスタ ・第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや ・ボランティア・NPOフェスタなごや ・なごやボランティア楽集会	平成3～15年度 平成16～17年度 平成19年度(18年度にプレ開催) 平成20～23年度 平成27年度～
独立行政法人福祉医療機構地域活動助成(福祉医療機構地方分助成事務受託)	平成9～21年度
災害ボランティア活動の推進	平成16年度～
地域福祉リーディングモデル事業	平成17年度～令和元年度
地域の支え手応援事業	令和2年度～
東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営(委託業務)	平成23年度～
名古屋市市民活動推進センター(平成24年度開所)との連携 ・ぼらチャリ ・ボランティア入門講座(ボランティア体験講座) ・ぼらマッチ!なごや	平成24～27年度 平成26年度～令和2年度 平成27年度～